

# 地域医療連携だより

H28.6  
第36号



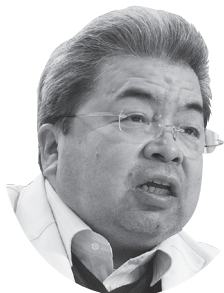
**兵庫医科大学病院**

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号  
TEL.0798-45-6111(大代表)  
<http://www.hosp.hyo-med.ac.jp>



## 病院機能評価を受審して

地域医療・総合相談センター長 西 信 一



兵庫医大病院は 2015 年 10 月 19 日、20 日両日に日本医療機能評価機構の行う病院機能評価 3rdG を受審しました。遡れば 2014 年秋に受審する方針が決定し、2014 年 11 月 18 日に機能評価説明会に参加し、小職が機能評価受審対策委員長に選任されました。その後、2015 年 4 月 27 日に機能評価キックオフ会議が開催されるまでは、「何かしないといけない」という気持ちはあるものの、何をしたら良いのかわからない状況でありました。キックオフ会議の後は隔週で機能評価運営委員会、不

定期に各領域（第 1～4 領域）の調整会議を開催しました。こう書きますとかなり周到に準備を進めていたように感じられますが、実際には病院職員の中で機能評価受審を実感してきたのは 7 月末に行われました模擬審査以降であったように記憶しています。

病院機能評価は、コストパフォーマンスの点からも受審自体が疑問視されているようです。確かに、機能評価受審対策委員長を拝命した時にも「別に受けなくてもいいんじゃないか」という気持ちがあったのは事実です。しかし、受審準備段階でわかったことがあります。

我々の生活においても時々手は休めて過去を振り返り、現在の問題点を抽出し、将来に備えるのは非常に重要なことです。病院組織でも同様に言えると思います。普段の診療業務をこなしているだけでは業務内容の大きな見落としや危険性が見逃される可能性があります。こういったことに対して時々チェックの必要があるわけですが、そのチェック項目が病院機能評価項目に示されていると考えれば必要性が明らかになってまいります。

お陰さまで、2016 年 2 月 5 日に認定番号 JC756-3 で認定されました。内部のチェックが認められたわけですが、認められた病院機能を外部に還元する必要があります。今後は地域の皆様により良い医療サービスを提供する所存でありますのでよろしくお願い申し上げます。



## 「内視鏡下手術用ロボット“ダ・ヴィンチ”を用いた 腹腔鏡下腎部分切除術」の保険適応について



泌尿器科 診療部長  
腎移植センター副センター長 山本新吾

4cm以下の小さい腎癌に対する腎機能温存を目的とした腎部分切除術は、腎摘除術と同等の制癌効果が報告されて以来、現在標準術式となっています。従来は開腹にて行われていましたが、腹腔鏡手術の進歩に伴い腹腔鏡下腎部分切除術が広く行われるようになりました。しかし、腹腔鏡下腎部分切除術は開腹手術に比較し低侵襲である半面、制限された鉗子の動きのため切除後の縫合操作が難しいことが問題でした。そのため、腎臓の阻血時間が開腹手術より長くなる傾向が認められました。

ダ・ヴィンチS手術システムを用いたロボット支援手術は、従来の腹腔鏡手術と比較し複雑かつ細やかな手技が可能となり、同時に3Dカメラによる立体画像に基づいた正確な手術が可能です。既に当院では2012年12月に導入され160例を超えるロボット支援下前立腺全摘除術が行われていますが、2014年より自費設定でロボット支援下腎部分切除術も開始されました。従来の開腹手術や腹腔鏡手術と比較して、阻血時間や出血等の合併症が少なく、より正確に低侵襲手術が行えることが実証されています。

平成28年4月より我々の念願でありましたロボット支援下腎部分切除術により健康保険が適応されました。現在のところ10症例以上の実績が必要など厳しい施設基準が課されていますが、当院ではこの施設基準も十分位満たしており、ますます多くの患者さんにロボット支援下手術を受けていただけるものと期待されています。



ダ・ヴィンチ

## 開催報告：兵庫医科大学病院 第16回地域医療懇談会

平成28年6月4日(土)午後4時から、ノボテル甲子園において第16回地域医療懇談会を開催しました。当院から理事長、病院長および地域医療・総合相談センター長が挨拶を行ったのち懇談会では各市医師会・兵庫県歯科医師会の現況報告と地域医療連携について西宮市、芦屋市、宝塚市、伊丹市、川西市、三田市、神戸市、尼崎市、兵庫県歯科医師会の代表の先生にご発表をいただいた後、地域医療・総合相談センター長と病院事務部長より当院からのお知らせをさせていただきました。



引き続きの懇親会においては副理事長の開会の辞、病院長より新任部長等の紹介、川西市医師会から藤末洋会長に乾杯のご発声をいただき、地域医療・総合相談センター副センター長の閉会の辞で終了いたしました。医師会、医療機関から医療関係者148名、兵庫医科大学関係者59名を加えた207名が参加、盛会のうちに開催することができました。ここに感謝をもちましてご報告申し上げます。

## 診療部長からのご挨拶



### 糖尿病・内分泌・代謝内科 診療部長 小山 英 則

平成 28 年 2 月 1 日付けで、難波光義現病院長の後任として糖尿病・内分泌・代謝内科の診療部長を拝命致しました。私は昭和 62 年に大阪市立大学を卒業し、Washington 州立大学研究医、大阪市立大学大学院医学研究科講師を経て、平成 22 年 10 月より兵庫医科大学病院で糖尿病・内分泌・代謝疾患の診療に従事しています。

当内科は糖尿病と内分泌・代謝の 2 グループ体制で診療に従事しています。糖尿病グループは、1 型糖尿病、糖尿病合併妊娠、糖尿病急性合併症（ケトアシドーシス、高浸透圧性昏睡、乳酸アシドーシス、低血糖など）に対して救急部と連携しながら、専門的・高度医療を提供し、2 型糖尿病に対しても先進医療の提供、慢性合併症の評価・治療を積極的に推進しています。重症合併症や血糖コントロール困難例に限らず、定期的な糖尿病の病態や合併症の評価など、気軽に当科を御利用いただければ幸いです。内分泌・代謝グループは下垂体、副腎、遺伝性疾患（家族性高コレステロール血症など）、重症高血圧症、水・電解質異常など、高度な専門的疾患に対する中核病院として広く認知いただいています。また、動脈硬化のリスク評価と治療方針の御提案も行っています。高度・専門医療から、2 型糖尿病、甲状腺疾患、高血圧、脂質異常症、骨粗鬆症、慢性腎臓病など一般内科領域まで、幅広く地域の先生方と密接な連携をとりながら、地域医療の充実に努めてまいりますので、御支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。



### 眼科 診療部長 五味 文



この度、眼科主任教授 兼 診療部長に就任させて頂きました。私は平成元年に大阪大学を卒業し、以後、大阪労災病院、大阪大学、住友病院に勤務しましたが、一貫して網膜疾患の診療・研究に従事して参りました。特に加齢黄斑変性や糖尿病黄斑浮腫をはじめとする黄斑疾患を専門としています。

黄斑疾患は、治療の時期を逃すと視力低下が進行し、回復が得られにくくなります。これまで、薬物治療・手術治療の両者の適応を吟味しながら、個々の患者さんにより良い視力を維持してもらえよう、尽力してきました。兵庫医大でも引き続き黄斑疾患・網膜疾患の診療にあたりるとともに、その他の分野についても、スタッフと協力して最善の治療結果が得られるよう努力していきたいと思っております。

眼科は病診連携が特に大切です。お気軽にご紹介頂けるよう、また、病状が安定すればすぐに紹介元にお戻り頂けるように心がけていきますので、ご支援のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

## センター着任のご挨拶

### 地域医療・総合相談センター看護師長 小西尚美

平成18年の地域医療・総合相談センター設置時には相談担当として業務をしていました。今年4月から、6年ぶりに再びセンターへ戻り、以前と変わらないことや変わったこと、新しく加わったことなど、様々な業務やできごとを自分の中で整理しながら、古い知識を新しい知識へ書き換えているところです。

以前と比べると、連携がスムーズで驚くこともあります。前任者をはじめセンターのスタッフと連携していただいている病院・施設の方々の努力によるものだと感じています。今後も今までと同様に、院内・院外を問わず連携を密にし、より患者・家族各々に適した場所で必要な支援が受けられるように、患者さん・ご家族の話をよく聞き、思いを大切にされた退院調整ができるように努力していきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

### 地域医療・総合相談センター副看護師長 小牧よし子

この度、地域医療・総合相談センターに着任いたしました小牧よし子です。私はこれまで病棟に勤務しながら、がん性疼痛看護認定看護師、リンパ浮腫セラピストとしてがん患者さんやご家族のご支援やご相談に携わってまいりました。

現在、着任して数週間がたちますが、今までに経験したことのない業務や他職種の方々との協働に戸惑うことはありますが、周囲のサポートを受けながら日々成長しております。

小西師長の指導の下、相談にこられる患者さんやご家族、診療科の先生や看護師の方々が気軽に相談できる場所となり、ニーズに応えられることで、地域医療の充実に努めてまいりますので、何卒よろしくお願申し上げます。

### 病院事務部 地域医療課 課長 神代泰宏

このたび、4月1日付で地域医療課に着任いたしました。地域医療課は地域の医療機関からの紹介患者さんの診療予約等の病診・病病連携に関する業務、紹介・逆紹介を行うための医療機関の情報収集、院内において市民健康講座、院外において市民健康フォーラム、各市医師会との講演会等の業務、渉外活動、広報活動等多岐にわたる業務を行っております。

また、当院は阪神南北医療圏の7市1町の医師会、医師会に属する医療機関、自治体がひとつになって地域の住民の皆様の検討と医療をサポートする「h-Anshin(はんしん)むこねっと」に参加し推進を図っております。

さらに、平成28年4月に当院に紹介実績のある医療機関に所属する医師・歯科医師を対象とした兵庫医科大学病院登録医制度「武庫川クラブ」を開設致しました。

今後は、地域医療の連携の推進と充実に努めてまいりますので、より一層のご協力・ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

## 兵庫医科大学病院からのお知らせ

### 健康医学クリニックで定期的な健診を

“がん”をはじめとした生活習慣病の予防と早期発見を担う人間ドック専門施設「兵庫医科大学 健康医学クリニック」が平成27年4月にオープンしました。兵庫医科大学病院や関連病院と連携し、疾患が発見された場合には迅速で質の高い医療を提供する体制を整えています。

お問い合わせ先：健康医学クリニック 0120-682-701 (直通)



### 救急ホットライン

医療関係者専用の各科医師への直通電話です。24時間365日、交換手を通さず、各科医師に直接かかります。緊急症例、診療のご相談など何でもお気軽にお電話ください。

☎ 全ての重症疾患もしくは受け入れ先に迷ったら・・・

0798-45-5711 (救急科医師)

循環器疾患と思ったら

080-2475-7380 (循環器内科・冠疾患内科医師)

脳疾患と思ったら

080-2529-8239 (脳神経外科医師)

画像転送用アドレス：hyougo.nougeka@gmail.com